

アドベンチャートラベルの世界的隆盛を背景に、四国遍路の巡礼路をロングトレイルとして踏破しようとする外国人旅行者の数が増加傾向にある。これまで四国遍路の受入環境については、聖地巡礼を中心とした精神体験を前面に打ち出した整備を進めてきたため、トレイルコースとしての広域情報の提供やサポートが不十分な状況にある。その結果、1,200kmを踏破しようとする外国人旅行者が、魅力ある体験スポットや消費スポットを素通りする等、トレイルコースとしての魅力を訴求できていないことから、観光消費への波及も限定的なものになっており、アドベンチャートラベル、ロングトレイルの観点から受入環境を再構築することが急務となっている。

1. 事業実施地域の現状・課題

<現状>

- アドベンチャートラベルの世界的隆盛を背景に、四国遍路の巡礼路を、自然体験、異文化体験、周辺観光を含めたロングトレイルとして堪能しようとする外国人旅行者の増加が顕著になっている。

<課題>

- 四国遍路の受入環境は、聖地巡礼をベースとする精神体験を中心に整備してきたため、体験型観光に軸足を置いたトレイルコースとしての情報発信、環境整備、サポート態勢等が十分でない。
- 四国4県を跨ぐ1,200kmのエリアをカバーする広域情報の提供やサポートを持続的に行う態勢が脆弱であり、コース周辺の観光・消費スポットが十分に活かされておらず、観光消費への波及も限定的なものとなっている。

3. 目標値、効果検証・事業評価の手法

- ① アドベンチャートラベルの観点から、トレイルコースとしてのポテンシャルの評価や環境整備に関する検証
- ② 登録システムを活用した、サービス拠点による各種サービスの提供が、周遊の快適性を向上させ、良質な観光地形成に向けたルールの浸透に繋がることの効果検証
- ③ 遍路道情報センターによる、サービス拠点との情報の授受、情報データベースの更新、ポータルサイトからの情報発信等、一連の手順に基づく広域情報の収集・発信態勢の負荷・効果等の検証
- ④ 訪日外国人入込客数を適正に推計するための態勢構築

4. 次年度以降の取組

- 「四国遍路トレイル（仮称）」の観光コンテンツとしての造成と海外に向けたプロモーションの実施。
- 調査結果をもとに、遍路道情報センター、サービス拠点等の業務内容を精査し、各々の自走化に向けた検討を実施。

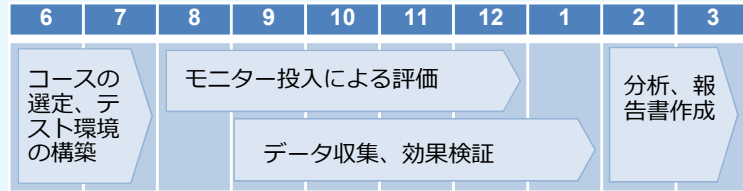
2. 事業概要

<事業主体>

四国運輸局、(一社)四国ツーリズム創造機構、(一社)イーストとくしま観光推進機構

<事業実施期間>

令和3年6月～令和4年3月



<取組概要>

アドベンチャートラベルの観点から四国遍路を、トレイルコースと観光スポットからなる壮大な回遊エリア「四国遍路トレイル（仮称）」と捉えて、以下のテスト環境を構築。

- ① 複数のトレイルコースを設定し、回遊プログラムを試行
- ② 登録システムにより、スタート時に総合サービス拠点でCheck-Inした旅行者にガイダンスを行い、登録証を交付して、旅ナカではサービス拠点から各種サービスを提供し、最後にCheck Outする手続きを試行
- ③ 遍路道情報センターが、サービス拠点と情報交換を行うことで、情報DBやポータルサイトを更新し、アップデートされた最新情報を回遊者や海外の潜在層に発信することを試行
- ④ 回遊する訪日外国人を適正に推計するための方法を調査

テスト環境の中で、外国人や専門家をモニターに起用し、環境整備の効果や持続的運営態勢等のあり方を調査する。

